

# 美和西小学校便り

令和5年度  
6月号

## 新校歌の歌詞制作プロジェクトに参加して

来年度スタートする「美和小学校」の校歌の作詞を担当してくださる絵本作家のM先生を本校へお招きして、児童と交流の時間をもっていました。

校歌とは、言うまでもなく、学校を象徴するものとして制定された歌。建学の精神や理想とする校風などを表していて、学校の一員であるという自覚を高めるなどの目的で、式典などで歌われるものと認識されています。

実は、さかのぼること3年前。前任校のことではありますが令和2年度の春先、学校は臨時休校で始まりました。コロナ禍ということで式典などで校歌が歌われる機会がすっかり減ってしまい、私は校歌の存在意義を校長として改めて考えてみました。

校歌の歌詞を見ながら、一語一語を見直すと確かに校歌というと「校風」や「自然環境の美しさ」などを表現する言葉も多いですが、深く印象に残ったのは、「未来を拓きゆこうとするたくましい姿」、「自然と共に」、「自然を守り共に生きようとする」、「友だちと共に」など、コロナ禍だったからこそ一層心に響くメッセージと受け取れて感銘を受けました。オーバーかも知れませんが、「校歌とは、自分たちのための応援ソング」と言ってもよいのではないかなと思うようになりました。(多くのミュージシャンが被災地に行き、音楽の力で勇気を届けておられたように)

子どもたちがこのプロジェクトに参加したことにより、新校歌の歌詞が自分のものとなって、在学期間だけでなく、卒業してからも長きにわたって勇気を与えてくれたり、抱いていた夢に向かって背中を押してくれたりすることがあれば良いなと願っています。

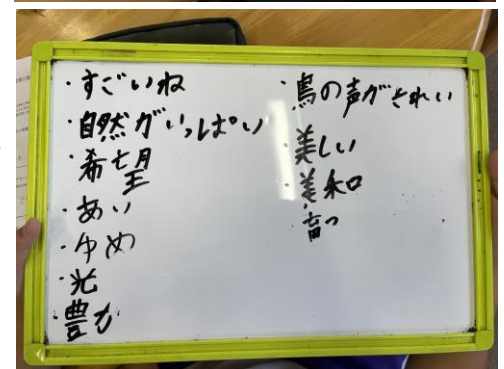
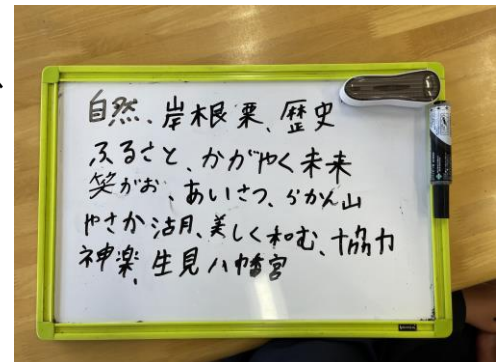
美和町にある素晴らしい「自慢のひと・もの・こと」が言葉として形になりました。これら全ての言葉が歌詞に採用されるわけではありませんが、こうした子どもたちの生の声、また、歌詞に込めたい、残したいメッセージなどが作詞者のM先生にイメージとしてもお届けできたのではないかと思います。同様に、美和東小学校でも交流会が行われ、子どもたちの言葉が届けられています。

高齢化や人口減少により、学校は地域の担い手を育成することが喫緊の課題となっています。今回の活動を通じて、今後更に取り組んでいきたいと思ったことは、「ふるさとを愛し、ふるさと美和町をどうしていきたいのか、自分事として自分の言葉で語り、行動できる児童」を増やしていくことです。

教育課程の一層の見直しと学校・家庭・地域で育てたい児童像の共有も熟議などを通じて図っていければと思います。これから歌い継がれていく新校歌の完成が待ち遠しいです。



【絵本作家 M 先生と共に】



【子どもたちの発表(一部)】

校長 西 浦 直 樹

# 日曜参観日への御来校 ありがとうございます

5月21日(日)に行いました日曜参観日では、たくさんの皆様の御来校を賜り、誠にありがとうございました。

1校時の**参観授業**では、新年度が始まり2ヶ月を経過しようとする時点での各学級の様子をご覧いただきました。どのクラスも学習時の約束事にもずいぶん慣れて、落ち着いて学習できていました。



<2年生のようす>



<スポーツ大会のようす>



<地区ごとの話し合いのようす>

続いて、PTA 保体部の皆様のお世話

により、「**親子ふれあいス**

**ポーツ大会**」が行われました。「転がしドッジ」のボールを懸命によける1年生のかたわら、速球を投げたり、受けたりする上学年の姿を見るにつけ、子どもたちの6年間の成長の大きさを実感するひとときともなったのではないのでしょうか。

早朝からの準備に加え、試合の合間の水分補給など、さまざまな気配りをしながら大会を運営してくださった、宅野部長様をはじめとしたPTA 保体部の皆様、PTA 会長様、副会長様他役員の皆様、御参加くださった皆様に厚く御礼を申し上げます。

この日の最後に行った**地区懇談会**では、新たな試みとして、児童と担当教職員を交えて情報交換を行いました。

ここでは、登下校時や普段の生活の上での気になることもさることながら、「子どもたちのよさ」について各地区で出し合い、最後に全体で共有することに重きをおきました。「**あいさつをよくする。**

**「時間を守る。」**」**「上学年が下学年のめんどうをよくみる。」**」**「仲が良**

**い。」**など、たくさんの「良さ」を子どもたちがいる場で出し合っていたことで、きっと子どもたちの自信につながったことと思います。御協力ありがとうございました。

## 美和西ヒーローズ 現る！

5月18日(木)に、学校支援ボランティアで学校運営協議会委員でもあるTさんが整備してくださった運動場南側の花壇に、同じくTさんが育ててくださったコスモスの苗を縦割り班



<コスモスの苗の植え付けのようす>

に分かれて全校児童で植え付けました。

その後、班ごとの水やりが軌道に乗るかどうかは課題で

したが、5月27日(土)・28日(日)に、6年生の男子4名が、コスモスの苗を心配して水やりにきてくれていたことが分かりました。



<進んで水やりをしてくれた6年生の4名>

もの言わぬ植物の、水を求める声を察知して、小さな命を大切にしようとかけた行動は、まさにヒーロー！その優しさに感動しまし

た。4人を含め、児童には交通安全には十分注意すること、また、家が遠い児童については、わざわざ来なくてよいことは指導しておりますが、子どもたちの優しい行いをご紹介します。